

(一社)日本品質管理学会認定 第34回



品質管理検定

- 試験日 : 令和4年9月4日(日)
- 試験会場 : 修紅短期大学(一関市萩荘字竹際49-1)
- 試験主催 : 一般財団法人日本規格協会、一般財団法人日本科学技術連盟
- 団体受検 : 主催/一関市 所管/公益財団法人岩手県南技術研究センター
後援/学校法人健康科学大学 修紅短期大学
- 受検申込 : 令和4年6月6日(月) ~ 6月24日(金)

※受検申込には願書請求が必要です。はじめに**願書請求を6月17日(金)まで**に行ってください。

◇◇ 受検のご案内 ◇◇

一関市では、高品質・高付加価値なものづくりを支援する一環として、今年も品質管理(QC)検定(以下、「QC検定」と表記)を一関市内で実施いたします。

ほとんどの企業では、良い製品やサービスを生み出すための様々な活動を行っていますが、これらを総称して「品質管理(活動)」と呼んでいます。一関市は、企業で働く従業員、派遣社員をはじめ、将来、就職を目指す学生の方々を対象に、企業において必要とされる「品質管理(活動)」の能力を身につけていただくことを目的にQC検定を実施します。

企業において働く方々に求められる品質管理の能力はそれぞれの仕事によって異なります。QC検定は、その求められる能力を四つのレベルに分類し、各レベルの能力を発揮するために必要な品質管理の知識を筆記試験で客観的に評価し、品質管理の知識レベルの認定を行うものです。

受検資格

- ・どの級から受検していただいても結構です。
- 制度の概要につきましては、QC検定Webページをご覧ください。

受検申込みできる方

- ① 市内企業及び学校
- ② 県南技研が実施する令和4年度QC検定3級取得支援講座の受講者
- ③ 市外企業及び学校

定員については、申込み状況を確認しながら、なるべく多くの方に受検いただけるように、各級の会場を割り振った上で調整を行います。申込み多数の場合は、受付を終了する場合がありますので、ご了承ください。

受検料（税込）

- ・一関市主催で団体申込みするため、個人受検でも団体割引が適用されます。
- ・払込手数料は申込者負担となります。
- ・一旦払い込まれた受検料は、原則として返金できませんのでご注意ください。

■一般受検の場合

1級	9,350円	(注)	併願とは、同一者が同日に二つの級を受検することです。
2級	5,500円		
3級	4,400円	※	左記料金は団体受検割引が適用された金額です。
4級	3,300円		
1級・2級併願(注)	13,420円		
2級・3級併願(注)	8,800円		
3級・4級併願(注)	6,930円		

■準1級保有者（第24回～第28回）が1級を受検する場合

1級	8,800円	※	左記料金は団体受検割引が適用された金額です。お申込みには準1級番号が必要になります。
----	--------	---	--

◇◇ 申込から試験結果通知の流れ ◇◇

1. お申込みの前に

■お申込み後の変更

お申込み後のキャンセルや受検地、受検級の変更はできませんので十分ご検討の上、お申込みください。

■視覚・聴覚・肢体などが不自由な方へ

お申込みの前に（公財）岩手県南技術研究センターまでご相談ください。
なお、試験会場等の設備状況によっては対応できない場合があります。

2. お申込み

■願書請求期間 令和4年6月6日（月）～ 6月17日（金）**《17時厳守》**

■申込期間 令和4年6月6日（月）～ 6月24日（金）

- 申込方法
- ①個人申込の場合：別添「払込受検願書（個人）」により払込をお願いします。
 - ②企業・学校等申込の場合：別添「払込受検願書（企業・学校等）」により払込の上、受検者名簿（別添様式）をメール又はFAXにて（公財）岩手県南技術研究センターまで提出してください。
 - ③10万円を超える払い込みをする場合は、「払込受検願書（企業・学校等）」以外でも受け付けますので、（公財）岩手県南技術研究センターにご相談ください。

3. 受検票

受検票は令和4年8月上旬（予定）に（公財）岩手県南技術研究センターから発送いたします。
万一、届かない場合や受検票の内容に誤りがある場合は、必ず（公財）岩手県南技術研究センターまでご連絡ください。

4. 受検当日

- 試験日 令和4年9月4日(日)
- 試験会場 修紅短期大学(一関市萩荘字竹際49-1)
- 試験時間
 - 1級 13:30~15:35 (125分 回収時間含む) ※マークシート90分、論述30分
 - 2級 10:30~12:00 (90分)
 - 3級 13:30~15:00 (90分)
 - 4級 10:30~12:00 (90分)

■当日持参するもの

- ・受検票(受検者本人の写真(たて30ミリ、よこ24ミリ)を貼付の上、必ずご持参ください。)
 ※写真が貼っていない場合は受検できません。
- ・筆記用具(HB又はBの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム)・時計
- ・電卓(1~3級のみ必要)

持ち込み可の電卓	四則演算(+-×÷)や百分率(%)の計算ができる一般電卓又は事務用電卓 √キー付きのもの
持ち込み不可の電卓	上記の電卓を超える計算機能をもつ関数電卓やプログラム電卓、電卓機能をもつ携帯端末(通信機能を含む機器類の使用も不可)

※ 試験会場では、電卓、筆記用具の貸出しは行いません。

※ 携帯電話は使用できません。

5. 合格発表と受検結果

- ・試験日から約1か月後に日本規格協会/品質管理検定(QC検定)のWebページに合格者の受検番号を掲載いたします。(Web合格発表)
- ・試験結果通知書は試験日の約2か月後に(公財)岩手県南技術研究センターから郵送いたします。
- ※ 検定試験の成績や合格についてのお問合せにはお答えできません。

◇◇ 試験の内容 ◇◇

下記はQC検定のレベル表をもとに試験範囲を要約しています。詳しい内容は日本規格協会/品質管理検定(QC検定)のWebページに掲載されている「品質管理検定レベル表(Ver.20150130.2)」をご確認ください。

級	対象となる人材像	試験の実施概要
1級 / 準1級	<ul style="list-style-type: none"> ●部門横断の品質問題解決をリードできるスタッフ ●品質問題解決の指導的立場の品質技術者 	品質管理活動のリーダーとして期待される、品質管理の手法全般、実践全般に関する理解度、及び品質管理周辺の手法や品質管理周辺の活動としてトピック的事柄に関する基礎知識、並びに2級~4級の試験範囲を含む理解度の確認
2級	<ul style="list-style-type: none"> ●自部門の品質問題解決をリードできるスタッフ ●品質にかかわる部署(品質管理、品質保証、研究・開発、生産、技術)の管理職・スタッフ 	QC七つ道具等を含む統計的な手法の活用や実践を自主的に実施するために必要とされる知識の理解度、及び確率分布、検定・推定、相関分析・回帰分析、実験計画法、抜取検査、信頼性工学、品質機能展開、統計的プロセス管理などの基本的な事項、並びに3級~4級の試験範囲を含む理解度の確認
3級	<ul style="list-style-type: none"> ●業種・業態にかかわらず自分たちの職場の問題解決を行う全社員(事務、営業、サービス、生産、技術を含むすべて) ●品質管理を学ぶ大学生・高専生・工業高校生・総合高校生 	データの取り方やまとめ方の基本とQC七つ道具の利用、新QC七つ道具の基本、QC的ものの見方・考え方、管理と改善の進め方、品質、プロセス管理、問題解決、検査と試験、標準化など、基本的な管理・改善活動に関する事項、並びに4級の試験範囲を含む理解度の確認
4級	<ul style="list-style-type: none"> ●初めて品質管理を学ぶ人 ●新入社員 ●社員外従業員 ●初めて品質管理を学ぶ大学生・高専生・工業高校生・総合高校生 	品質管理、管理、改善、工程、検査、標準・標準化、データ、QC七つ道具、企業活動の基本など、企業活動における基本常識に関する理解度の確認 ※4級の問題は、“品質管理検定(QC検定)4級の手引きVer.3.1”(Webで公開)から出題されます。

